

墨田区児童館の今後のあり方等についての検討 全体概要（骨子）

資料3 子ども・子育て会議

※1～3は、「すみだ子育て・子育て応援宣言（平成27年3月）」の学齢部会専門委員会報告書から抜粋

1 墨田区の児童の育成環境をめぐる状況

- 家庭・家族の形態が多様化し、共働き家庭が増えているとともに、ひとり親家庭、再婚家庭、祖父母を保護者とする家庭など、家庭のあり方や環境が多様化してきている
- 子どもが家で手伝いをしたり、まちで遊ぶ機会、地域活動に参加する機会などが減ってきている
- 子どもの遊び場は地域や自然の中にあったが、急激な都市化が進み、子どもの遊び場や遊び方は大きく変化した
- 近年、インターネット上での誹謗中傷が原因の自殺などが大きな社会問題になっている
- 6人に1人の子どもが相対的貧困の状態にあり、ひとり親家庭では2人に1人の割合で、年々増加傾向にある
- 学習障害や注意欠陥・多動性障害、自閉症等、学習や生活面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒がいる
- 家庭環境等の問題により子どもの生活のリズムが乱れ、心と体のバランスを崩す場合もある

2 墨田区における児童館の役割

- 健全な「子育て」と安心な「子育て」を保障する場であり、自主的、創造的、共同的な成長を促す施設
- 学童クラブ事業、一般来館児童のための多彩な事業など、広汎かつ専門的な取組みを展開している
- 児童館は、小学生だけでなく、中高生の利用にも対応するため、また、親の相談、地域活動や翌日の活動の準備のために夜間まで開館している
- 豊富な集団遊びを体験できる場である。子どもが主体的に参画し、役割を分担し、一緒に楽しむことができる
- 児童館では、学童クラブや図書室などで、家庭学習の補充、遅れた科目の学習支援、自習の指導などを行っている。
- 家庭に問題がある環境に身を置く子どもの存在を、活動を通して察知し、それを意識しながら学習支援、活動参加支援、集団活動支援を行い、子どもが困難な状況にあっても分け隔てなく仲間と同じレベルの活動ができるように配慮し、対処している
- 障害のある子ども、配慮や支援を必要とする子どもが、可能な限り仲間と活動の場を共有して、充実した生活ができるように保障している。
- 学童クラブにおける児童の変化、中高生事業での児童の心や体の変化などを早期に気付き、専門的な相談、支援につなぐことで早期に対応できる。

3 国の施策の方向性

- ①児童館ガイドライン
 - 児童館の機能・役割として、発達の推進、日常生活の支援、問題の発生活予防・早期発見と対応、子育て家庭への支援、地域組織活動の育成を5つの柱とした。
- ②子ども・子育て支援新制度
 - 「放課後児童健全育成事業の実施に当たっては、引き続き子どもの健全育成を図る中核的な活動拠点である児童館や放課後子ども教室等との連携に努めるとともに、学校等とも連携し、放課後や週末等における子どもの安全かつ安心な居場所づくりを推進することが必要である」と示されている。
- ③放課後子ども総合プラン
 - 一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備を進め、全ての小学校区で、放課後児童クラブ及び放課後子供教室を一体的に又は連携して実施し、うち一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室について、1万か所以上で実施することを目指すとする。
- ④放課後児童クラブ運営指針
 - 就労等により保護者が昼間いない小学生に対し、適切な遊び及び生活の場を与える。

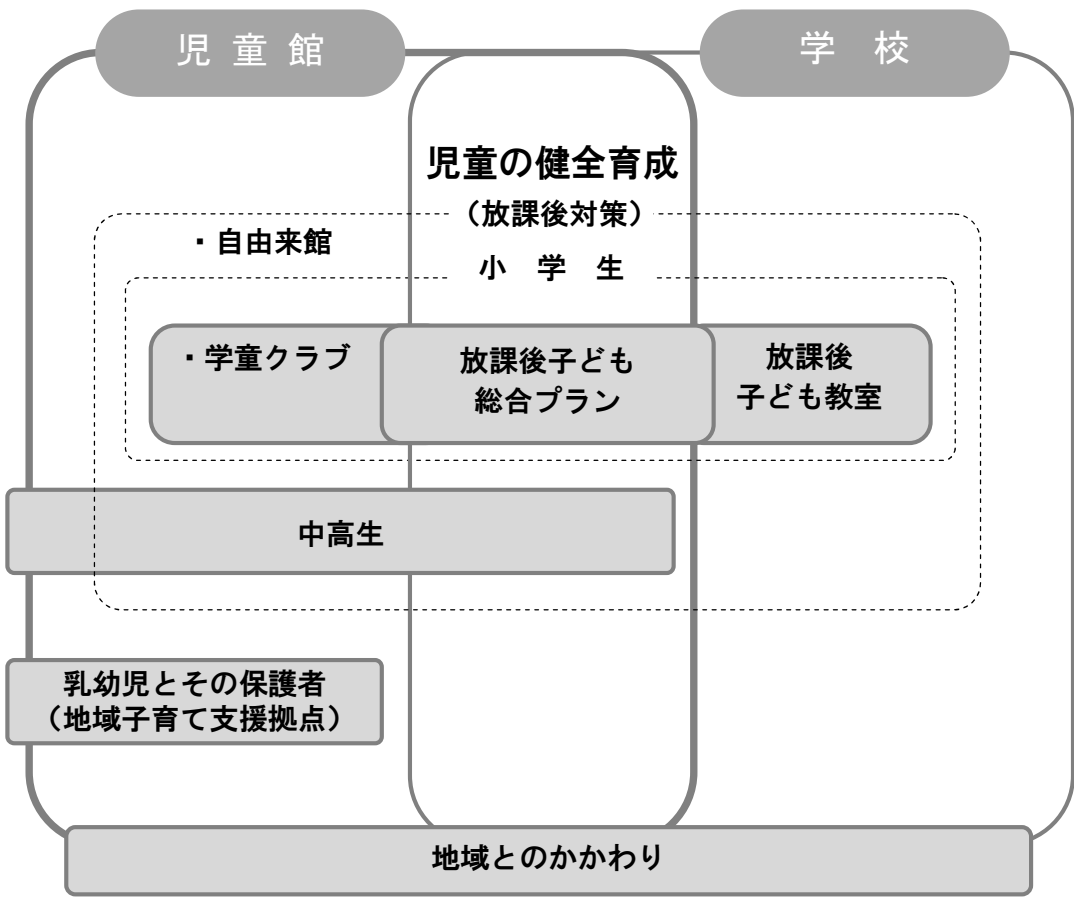
4 これまで議論されてきた児童館のあり方の検討課題

- ①地域子育て支援拠点になるように努める。
- ②学童クラブのニーズに対する児童館内で対応及び、学校教室等他での対応
- ③学童クラブ利用希望のある高学年や待機児対応
- ④中高生の居場所に対する対応

5 墨田区における児童館の現状と課題

- 〔児童館の全体像 一東向島児童館一〕
 - 「乳幼児とその保護者」「小学生」「中高生」「学童クラブ」「地域コミュニティ」を対象とした活動を実施するにあたり、専門性が求められている。
 - 発達や家庭環境などによる配慮を要する児童への専門的な対応が必要。
 - 学校や子育て支援総合センターなど他機関との連携が必要。
 - 地域コミュニティをつなげる施設
- 〔子育て支援対策 一江東橋児童館一〕
 - 乳幼児とその保護者との交流の場
 - 子育て等に関する相談や支援の実施
- 〔小学生の居場所 一文花児童館一〕
 - 子どもたちの信頼関係性や人間関係性の能力の推進として、支援や育成が、児童館の機能として求められる。
 - 量とともに質の向上の必要。またそのための施設の機能強化が必要。
 - 社会的な養護の機能の強化が必要。
- 〔中高生対象事業、地域と児童館 一墨田児童会館一〕
 - 来館者の継続性が不安定（つながり） ・目的来館以外の中高生の発掘
 - 中高生（来館者）からのボランティアへの定着
 - まだまだ眠っている地域資源
 - 更に掘り起こし、繋がり、一緒に育む
 - 児童館が地域のハブとしての役割を再認識し、行動する。

6 今後の墨田区における児童館の機能のイメージと学校とのかかわり



7 墨田区の健全育成施策の中核的活動施設として期待される児童館

- ①乳幼児と保護者に対する活動
- ②小学生を対象にした活動
- ③中高生を対象とした活動
- ④地域の健全育成活動
- ⑤運営体制と地域ボランティアの育成

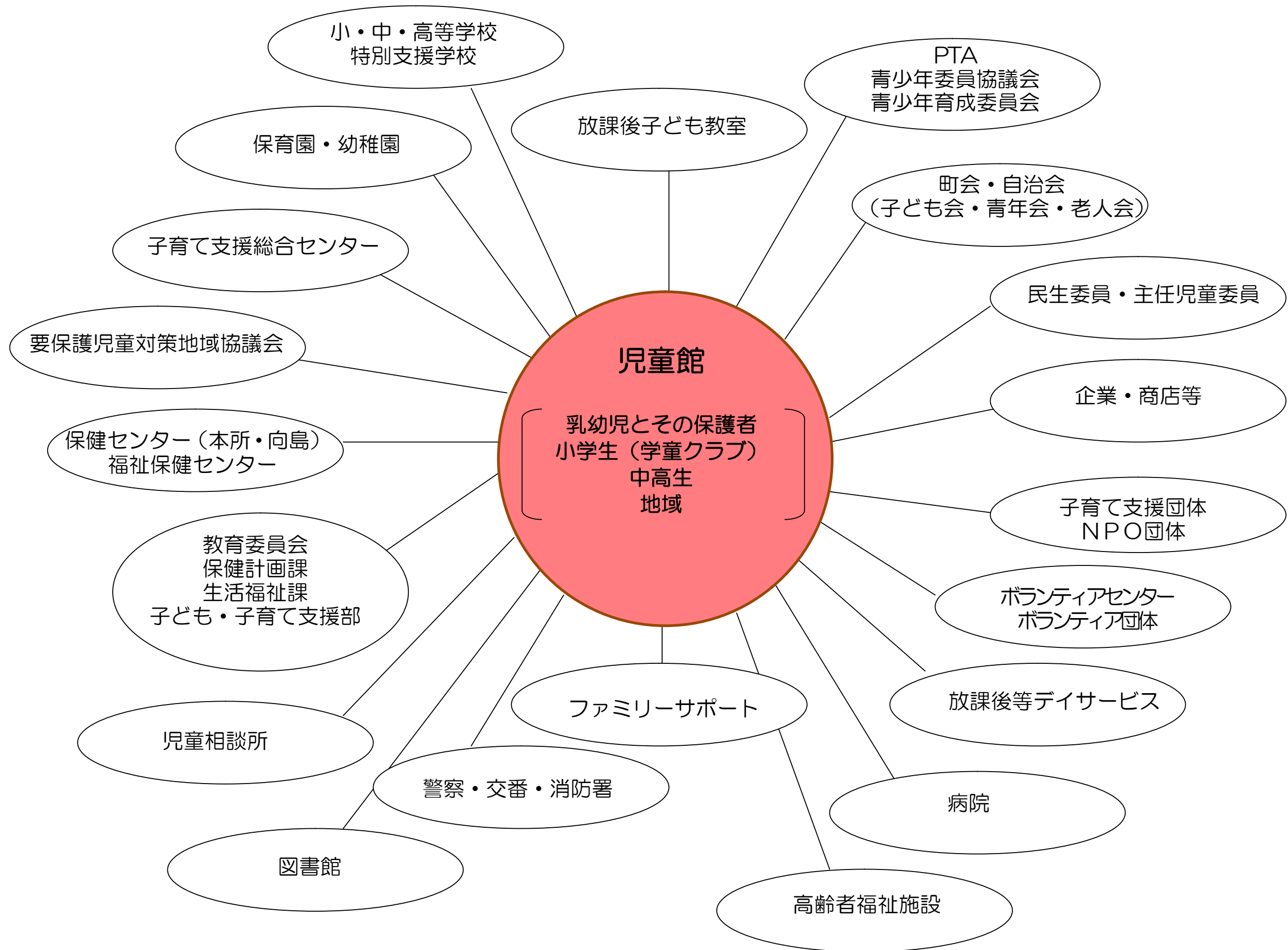
8 施設整備の諸条件の整理

- 施設整備の方式選択フローチャートの検討
 - 施設老朽度の状況
 - 機能別必要面積の状況
 - 附帯施設の状況
 - 周辺公共施設の状況
 - 児童数の状況
 - 職員の状況
 - 区民ニーズ など

9 各地区の施設整備の方向性

- 地区別課題と具体的方向性
- 地区別の整備の優先度
- 地区別の整備スケジュール
- 施設整備にあたって配慮すべき事項（コスト、区民理解 など）

児童館における各対象者のかかわり



墨田区児童館の今後のあり方 期待される児童館

期待される児童館		
(1) 活動 ①乳幼児と保護者に対する活動 ②小学生を対象にした活動 ③中高生を対象とした活動 ④地域の健全育成活動 ⑤運営体制と地域ボランティアの育成 (2) 役割 ①遊びの保障 ②安心・安全な居場所 ③児童問題の早期発見・早期対応 ④子どもにやさしいまちづくり ⑤地域福祉活動の拠点		
求められる活動と役割（館長からの提案）	活動例	必要な設備等（例）
① 全体の活動及び役割に係ること ・「乳幼児とその保護者」「小学生」「中高生」「学童クラブ」「地域コミュニティ」を対象とした活動を実施するにあたり、専門性が求められている。 ・発達や家庭環境などによる配慮を要する児童への専門的な対応が必要。 ・学校や子育て支援総合センターなど他機関との連携が必要 ② 乳幼児を対象とした活動 ・乳幼児とその保護者との交流の場 ・子育て等に関する相談や支援の実施 ③ 小学生を対象とした活動 ・子どものコミュニケーション能力向上のための支援や育成 ・社会的な養護の機能の強化が必要 ④ 中高生を対象とした活動 ・来館者の継続性が不安定（つながり） ・目的来館以外の中高生の発掘 ・中高生（来館者）からボランティアへの定着 ⑤ 地域と連携した活動 ・まだまだ眠っている地域資源 ・更に掘り起こし、繋がり、一緒に育む ・どのように事業に組み込むか →地域のハブとしての役割を再認識し行動する児童館	②～④ ・相談業務（利用者支援） ②乳幼児対象 ・読み聞かせ ・年齢別活動（リトミック、歌等） ・育児講座 ③小学生対象 ・工作会、学習会等 ・ドッジボール大会等季節行事 ・ビデオシアター ・読み聞かせ ④中高生対象 ・音楽活動等（自主活動の支援） ・キャンプ等（館主導事業の参加） ⑤地域 ・食育フェスタ ・地域祭り等の参加	① 全体 ・交流が図れるスペース ・相談スペース（相談内容がもれない個室） ② 乳幼児対象 ・乳児と幼児それぞれ活動できる場 ・①に記載 ③ 小学生対象 ・動（運動）、静（工作、音楽活動、図書）及び学習ができるスペース ・①に記載 ④ 中高生対象 ・動（運動）、静（音楽活動、図書、会話等）及び学習ができるスペース（小学生等と分けた専用スペース） ・①に記載 ⑤ 地域 ・関係団体と交流が図れるスペース